

の
輝く
学生たち
ちらお
笑顔を届け！
発行：穴吹カレッジグループ
〒760-0020 香川県高松市錦町1-22-23
TEL:(087)823-2266 URL <http://www.anabuki.ac.jp/>

anabuki college group



Special Edition

自信に繋がる！コンペ&産学連携

vol.24
2018



7
Years
Later
7年後のわたし

穴吹カレッジを卒業してから
8年になる卒業生の活躍を
お届けします。



Graduate 高松赤十字病院

看護師 穴吹医療大学校【高松】
保健看護学科(現:看護学科) 平成23年卒業

松浦 百世 (徳島県立池田高等学校出身)
Momoyo Matsuura

「困った人を助けたい。」そしてこれからも
学ぶ姿勢を忘れず、成長し続けたい。

人を助け、役に立つ仕事に就きたいと
思っていました。

黒柳徹子さん著書の、「トットちゃんと
トットちゃんたち」を読み、世界には貧しく、
いろんな病気を持って生きる子どもたち
がいることに衝撃を受け、このような人
たちのために役に立つ仕事に就きたいと
思うようになりました。また、妹が穴吹リハビ
リテーションカレッジに通っていたので
同じ穴吹カレッジである穴吹医療
大学校で学ぶことを決めました。



災害現場での看護に
強く関心があります。

現在は、泌尿器科病棟での病棟勤務
がメインで、月に数回、腎センターで勤務
しています。腎・泌尿器疾患に対する手
術・抗がん剤・血液透析・糖尿病など、急
性期から終末期まで、幅広い患者さんと
向き合っています。また、在学中は国際看
護に憧れています、当時参加した青年赤十
字奉仕団の活動は赤十字病院に就職し
たいと思ったきっかけになりました。そして
今は災害看護の救護班としても活動して
います。熊本の地震の際に救護班の第
一班として現場に向かい、活動したこと



更に災害看護を学
びたいと思い、
DMAT(災害派遣
医療チーム)の資
格も取得しました。

失敗を恐れずにどんどん学ぶ姿勢を

持つことが大切だと思います。

新人看護師にも言っているのですが、最
初は誰でも失敗するものです。失敗を恐れずに
チャレンジすることで成長し、立派な看護
師になれると思っています。今後も、学ぶ姿勢
を忘れずに、経験を積むことで技術・疾患の
知識向上をさらにめざしていきたいです。



7
Years
Later

学生時代の松浦さん
一期生だったため、先輩も
おらず勉強方法が分から
ず大変でしたが、サポート
し続けてくれた先生方や、
クラスメイトが一丸となっ
て試験に挑んだのは今で
もよく覚えています。



佐藤先生からのコメント
妹さん(穴吹リハビリテーションカレッジ卒業生)と一緒に生活し、共に勉学に励んでいました。入学後はバ
レーボール部に所属し、充実した生活を送っていました。コツコツと集中力のある学生で、見事に看護師・
保健師国家試験を合格しました。患者様やご家族に持つ前の明るさと優しさで接することができる素敵な看
護師になりましたね。さらなる成長が楽しみです。



在校生・卒業生の 親族入学優遇制度

入学者の親族が穴吹カレッジの 卒業生・在校生なら免除あり

入学者の親族が、穴吹カレッジグループ在校生・卒業生の場合、下記の金額を入学手続き時に学費から
免除する制度です。※親族の方が中途退学している場合は対象になりません。

●2親等内(親子・兄弟姉妹等)の方は10万円を入学手続き時学費から免除します。





Hiroshima

穴吹デザイン専門学校

△コンペティション&产学連携 ～実社会とつながるデザイン教育～

実社会の中で成長を実感。

私たちの暮らす現代社会は今や高度に複雑化し、新しい技術によって未知のモノにあふれ、昨日までは想像できなかった「何か」が次々と生まれてきています。企業も新しい商品やサービスの開発に必死で取り組み競争力を高めようとしています。

実は今、そういった社会情勢を反映して、企業だけでなく行政や教育機関にも、それらの新しい商品やサービスを生み出す過

程に、デザインは「なくてはならないもの」という認識、いわゆる「デザイン思考」が広がりを見せています。

穴吹デザイン専門学校は、そういった社会情勢の中で「何か新しいアイデア・才能」を提供できる場所として、地元をはじめとする多くの企業から期待されています。それは、日頃の専門性の高い授業に加え、コンペティションやコンテスト、产学連携で実績を積み重ねているからにはなりません。それができるのは、講師陣の

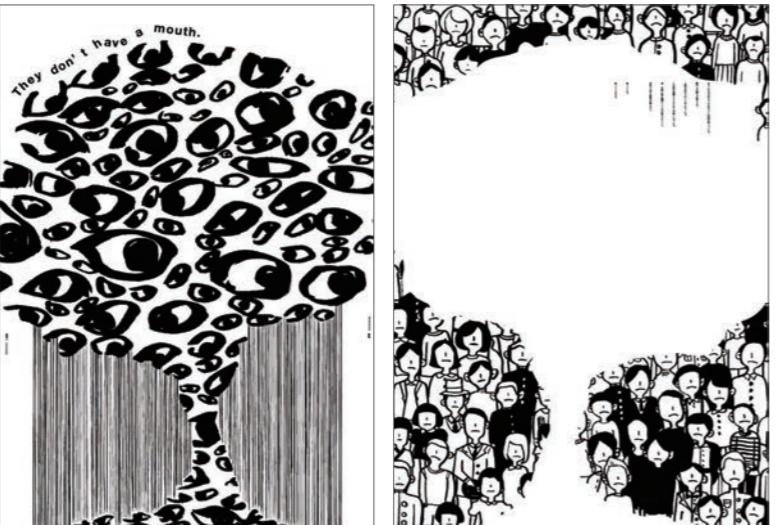
多くが実績豊富なデザイナー・クリエイターであることが大きな理由です。自らのノウハウを惜しみなく学生に伝授していく教育が、短期間で学生を成長させてくれています。

この1年も、新しい才能による多くのコンペ受賞や产学連携、新しい取り組みによって、実社会との接点をつくることができました。制作に携わった学生と、指導やコーディネートを担当した講師のコメントと共にご紹介します。

Prize コンペティション ヒロシマ平和ポスター 学生コンペティション 2018 最優秀賞 「ヒトゴト」

グラフィックデザイン学科 2年
高塚 遼（広島県立安芸南高等学校卒）

「愛の反対は憎しみではなく無関心だ」マザーテレサの言葉を元に、無関心の目をきの雲に見立てました。無関心の目が減ると結果も変わると考え制作しました。



グラフィック デザイン学科

教員コメント

広島でデザインを学ぶ学生を対象とした、平和ポスターのコンペでグランプリを受賞しました。芸術、デザインの学部を持つ大学の4年生も応募てくるコンペで、2年間の学習成果をしっかりと発揮しました。審査では、コンペの規定で連作禁止、ポスター1枚での出品というルールに対して表裏の2面に印刷を行い、反意のコンセプトを表現したことによる高い評価をいただきました。

Prize インテリア デザイン学科



「ウチ庭とは建物の一部を減築し、地域に対して小さな公園のような空間を創ることをいいます。時間の経過とともにウチ庭のある住宅が増え、地域との緩やかなコミュニティも育まれていくことを目的としています。」

Prize 建築学科 コンペティション 第21回ぐっとずっと。 エネルギー 住宅作品コンテスト 2017 学生部門最優秀賞 「ウチ庭のある暮らし」



教員コメント

建築学科、インテリアデザイン学科の演習科目で共通のテーマは「こうだったら良いな」という未来のイメージを描くことです。複数の講師で多様な視点からアドバイスすることによって学生たちの社会を見る眼を育てていることが、他の大学や大学院の作品と勝負できるレベルに到達する秘訣ではないかと考えます。

左 村井 芽衣（山陽高等学校卒）
中 竹田 勤（広島県立呉三津田高等学校卒）
右 久保田 愛梨（広島市立広島商業高等学校卒）

産学連携

東京ゲームショウ 展示用ゲームポスター

「GET BACK DIAMOND」
CG・ゲーム学科 2年
石田 萌夏
(広島市立基町高等学校卒)

CG・ゲーム学科 2年
南木 彩希
(山口県立柳井商工高等学校卒)



キャラデザインは主に一人のデザイナーがやってくれたので、キャラを描くときにはなるべく絵柄が似るよう描きました。
キャラの絵柄をインパクトのある太い線で単調に描くことで、目につきやすいデザインになったかなと思っています。

「まじけし」

CG・ゲーム学科 1年
清水 菜加
(広島県立広島商業高等学校卒)

CG・ゲーム学科 1年
福島 紫苑
(比治山女子高等学校卒)



楽しんで取り組むことができ、描いた物が形になっていくのが本当に嬉しかったです。今回経験したことは全て自分の成長に繋がったと思います。

他校との制作の中、やり取りがネットを通してでしたので、話のすれ違いが所々ありました。どう対処すればいいかを、学生のうちに経験できたのはよかったです。

教員コメント

CG・ゲーム学科では、客観的な視点を意識するよう指導しています。独りよがりな作品では、興味や共感を持ってもらえないからです。東京ゲームショウでの展示に向けたゲーム制作では、広島校はグラフィックを担当しました。穴吹グループ校との遠隔でのやり取りはスムーズにいかないこともあったと思いますが、どうしたら伝わるのか、など他者とのやり取りの部分でも大きく勉強になったと思います。当日は多くのお客様、企業様に見ていただくことができました!

Prize コンペティション

講談社 ヤングマガジン 第78回 ちばてつや賞 期待賞 「R.I.P.」



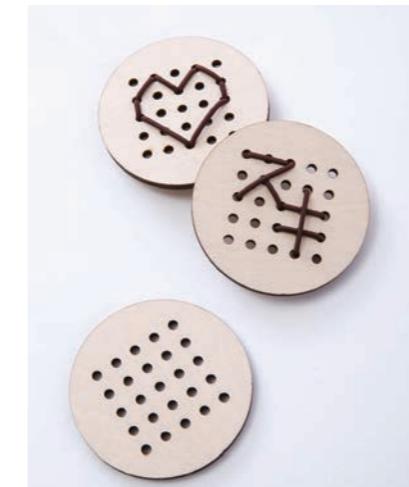
あのちばてつや先生に直接評価いただけると聞き、原稿を出した時、えも言われぬ恐れ多さを感じたのを覚えています。ご指導くださった講師のみなさまに厚く御礼申し上げます。

マンガ・アニメーション学科 2年
三川 亜（ペンネーム）（広島県立呉宮原高等学校卒）

教員コメント

マンガ・アニメーション学科では作画の技術は勿論、「しっかりとテーマを決め、そこを読者に伝えられるための演出はどうすべきか」という点にも力を入れています。また、自分の作品をマンガ編集者の方に直接講評をしていただく機会を年3回以上設けています。平成30年度は現在のところ、マンガ志望の20名の学生が11編集部49名の担当を獲得しました!

Prize コンペティション LOFT & FabAward 2017 Silver賞 「MARK」



「自分だけの目印になるもの」をコンセプトに作成しました。25個の穴にゴムを通し、好きな文字やマークを描くことができます。穴の間隔や大きさ、板の厚み、サイズなど、一番美しくて壊れにくい形を探して試行錯誤しました。

商品企画デザイン学科 2018年卒
板垣 愛美
(広島県立安芸高等学校卒)

教員コメント

ものづくりのプロを目指す商品企画デザイン学科では、「実際に形にして確かめる」ことを大切にしています。授業を通じて、試作・改善を繰り返し、より良いものをめざす姿勢を育んでいます。

「NANAMEUEの教育と実践の場をつなぐ試み」

NANAMEUEは広島校の中で運営されるshop&Gallery。今あるモノより「斜め上」な魅力をもつ商品をコンセプトに、卒業生や講師の作品を展示販売しています。管理を担当してくださいる講師の藤本先生にお話を伺いました。「NANAMEUEは店舗運営と販売実務の経験を積むための場所。企画を商品として販売できるレベルまで磨いて、店頭に並べる。値段を付けて売るからには、一般的の商品に引けを取らないものにしたい。対面販売の強みは第三者であるお客様と直接コミュニケーションを取れること。粗削りでもいいので、自分の作品を試す場として利用して。今後の展望は、NANAMEUEに行こう!と思ってもらえる、誰かの目的地になるような場所にすること。」進化を続けるNANAMEUEにご注目ください。



CG・ ゲーム学科

マンガ・ アニメーション 学科



高松 穴吹コンピュータカレッジ[高松]

東京ゲーム研修旅行に行ってきました

ゲームクリエーター学科1年生が8月22日(水)~8月24日(金)の3日間で東京ゲーム研修旅行を行ってきました。東京ゲームショウの併催イベントであるCEDEC 2018を見学した学生たちは最先端の知識・技術に驚いていました。また、都内ゲーム企業の訪問では株式会社 Tokyo RPG Factoryの熊谷様より、企業・業界についてご教授いただきました。これからめざす、プロのクリエイターへの憧れがより一層強くなりました。



高松 穴吹ビジネスカレッジ[高松]

大阪企業見学研修へ行ってきました

企業ビジネス学科1年生が大阪企業見学研修へ行ってきました。香川県では見ることが出来ない企業を見学し、これらの就職活動に向けての意識付けを目的に行いました。読売新聞社では、新聞が出来るまでの流れを説明していただき、実際に仕事をしている現場を見学させていただきました。造幣局では、貨幣の歴史、製造工程を見学させていただきました。今回の研修を今後の就職活動、生活に活かして欲しいと思います。



高松 穴吹デザインカレッジ[高松]

秋季研修旅行(京都コース)を実施しました

秋季研修旅行(京都コース)を実施しました。「京まふ」と「京都ddd」の2コースに分かれての研修となりました。また、マンガ・コミックイラスト学科2年生が特別授業を行いました。今回は、振袖、ドレスのヘアメイクと着付けを学ばせていただきました。この日は、60社以上の編集部が参加。良いアイデアをいたしました。デザイン、イラストレーション、アニメーション、実験映画、立体作品、絵画と多岐にわたる作品の数々を堪能しました。



高松 穴吹ビューティカレッジ[高松]

ブライダルスタイリスト専攻が特別授業を行いました

9月11日(火)、株式会社いのちのや・スタジオモナリージュにて美容学科2年生ブライダルスタイリスト専攻の学生が特別授業を行いました。今回は、振袖、ドレスのヘアメイクと着付けを学ばせていただきました。スタッフのみなさんご指導いただきながら、実際の現場で使用する衣装や道具を使い、普段の授業では学ぶことのできない貴重な体験をさせていただきました。



高松 穴吹工科カレッジ[高松]

インターンシップを行いました

自動車整備学科(2年制)の1年生と自動車整備学科(3年制)の2年生が各自動車販売・整備会社様の所へインターンシップに行きました。実際の業務を体験し、生の整備技術や故障診断技術を体感することで、さらなる技術を習得できるインターンシップは、自分の目標や学ぶべきことを再認識する貴重な経験となります。多くの技術と知識を吸収し、憧れの自動車整備士に向かってがんばっていきましょう。



高松 穴吹リハビリテーションカレッジ[高松]

OT塾を開催しました

穴吹リハOT塾は、本校の作業療法学科教員が作業療法士の視点で、地域貢献の一環として地域にお住いの方々の健康を増進するため、毎月1回開催している取り組みです。今回のテーマは、「タイルモザイクでアート作品をつくってみよう!パート2」でした。7月のOT塾での作品を完売しました。2月には卒業制作展&カフェオープンも控えているので、もっと美味しいお菓子が作れるようにがんばっていきたいです。



高松 穴吹パティシエ福祉カレッジ[高松]

「パテたま」が開催されました

パティシエ・ベーカリー学科2年生が販売実習「パテたま」を行いました。実習で身につけた知識や技術を発揮し、一生懸命作ったお菓子はどれも見事な出来栄えとなりました。お店がオープンすると、他学科の学生さんや先生方にも大盛況であつたという間に完売しました。2月には卒業制作展&カフェオープンも控えているので、もっと美味しいお菓子が作れるようにがんばっていきたいです。



高松 穴吹動物看護カレッジ[高松]

動物愛護フェスティバルにスタッフとして参加しました

9月16日(日)サンポート高松で開催された動物愛護フェスティバルに、ボランティアスタッフとして参加しました。犬猫譲渡、獣医師体験、犬のお散歩体験などのコーナー、受付や運営補助を行いました。お散歩体験では、しつけ専攻の学生とその担当犬が大活躍しました。人と動物が幸せに暮らせる社会にするため、自分に何ができるのか、将来の方向性について考える機会となりました。



高松 穴吹医療大学校[高松]

学科間交流授業を行いました

9月6日(木)病院事務・診療情報学科3年生、医療事務・ドクター秘書学科2年生、歯科衛生学科2年生が学科間交流授業を行いました。それぞれが授業で学んだことを教えていました。どちらの職業も患者さまの立場に立ち、対応することが必要なこと、そして「笑顔」は相手を安心させる最大の武器になることを改めて実感できる貴重な機会となりました。



高松 穴吹ビジネスカレッジ日本語学科[高松]

ポスターセッションを行いました

瓦町FLAG内の高松市ボランティアセンターにて、高松市で活動しているボランティア団体について、お話をうかがいました。その後、学生達で「現代の社会問題をボランティアで解決するなら?」というテーマについて話し合い、一枚のポスターにまとめあげ、学生や先生達に対してポスターセッションを行いました。日本に住んでいて気づかない社会問題や、ユニークな解決方法の提案など、聞いていて勉強になりました。素晴らしい内容でした。



徳島 穴吹調理デザインピューティカレッジ[徳島]

国家試験製菓衛生師試験に全員合格しました

パティシエ・ベーカリー学科2年生17名が、国家資格である製菓衛生師試験に、全員合格しました。製菓衛生師とは、安全な菓子・パンを作るための知識・技術を備えているということを証明する国家資格です。試験では、製菓の材料に関する知識や、食品に関する衛生面の知識など、幅広い分野が出題されます。日ごろの授業はもちろん、補講なども実施し、全員合格をめざしてがんばってきました。みなさん、本当にありがとうございました!



徳島 穴吹福祉医療カレッジ[徳島]

第10回戴帽式を举行了

デジタルクリエイト学科では、今年も株式会社ヒノタマの川島様による企画作成のイロハを学ぶ夏季特別授業を実施しました。講義では、企画を立てた時の「おもてなし」や「プロダクトアイデア」、「ベネフィット」などを実例を交えてお話いただきました。また、個人が作成した企画制作によるゲーム作品を展示すると共に、ブース一面にイラスト作品も展示しました。ゲームショウ会場でご挨拶した企業様との繋がりを大切にしつつ、レベルの高い学生を業界に送り出せるよう、がんばっていきます。



徳島 穴吹情報公務員カレッジ[徳島]

夏季特別授業を実施しました

9月2日(日)歯科衛生士学科では第10回戴帽式を行いました。戴帽式とはナースキャップをいたたく式です。本校では2年生の後期臨床実習に臨む前に、歯科衛生士をめざす者としての自覚と責任を胸に刻み、決意を新たにするセレモニーとして毎年行っています。今日の気持ちは忘れず、これから始まる臨床実習はもちろのこと学習や学校生活、国家試験や就職活動にも、全力で取り組んでください。



福山 穴吹情報デザイン専門学校[福山]

東京ゲームショウ2018へ出展しました

デジタルクリエイト学科では、今年も株式会社ヒノタマの川島様による企画作成のイロハを学ぶ夏季特別授業を実施しました。講義では、企画を立てた時の「おもてなし」や「プロダクトアイデア」、「ベネフィット」などを実例を交えてお話いただきました。また、個人が作成した企画制作によるゲーム作品を展示すると共に、ブース一面にイラスト作品も展示しました。ゲームショウ会場でご挨拶した企業様との繋がりを大切にしつつ、レベルの高い学生を業界に送り出せるよう、がんばっていきます。



福山 穴吹医療専門学校[福山]

医事コンピュータ技能検定で成績優秀賞を受賞

9月20日(木)~23日(日)の4日間、幕張メッセで開催されたアジア最大のコンピュータゲームの展示会「東京ゲームショウ」にゲームクリエーター学科がブース出展しました。グループ校の学生の合同制作によるゲーム作品を展出すると共に、ブース一面にイラスト作品も展示しました。ゲームショウ会場でご挨拶した企業様との繋がりを大切にしつつ、レベルの高い学生を業界に送り出せるよう、がんばっていきます。



福山 穴吹動物専門学校[福山]

動物愛護のつどいに参加しました

9月23日(日)福山市動物愛護センターで動物愛護のつどいのイベントが開催されました。今年も動物看護学科3年生の学生が、ワンちゃんのお手入れ＆リボン付けや、おもちゃ作り体験などワンちゃんにも飼い主さんにも嬉しいサービスを行いました。また、飼い主さんからワンちゃんのお手入れや飼い方の質問を受け、学校で学んだことをアドバイスし飼い主さんに喜んでもらっていました。学生たちは多くの飼い主さんと交流し、社会にでる心構えと準備ができる良い機会となりました。



福山 穴吹ビューティ専門学校[福山]

アップスタイル特別講義を行いました

大阪の安木會アップスタイル研究会より橋本光弘先生をお招きし、美容学科1年生を対象に「アップスタイル」の特別授業を行いました。午前中は、橋本先生によるデモンストレーションが行われ、短時間で華麗なアップスタイル技術を披露いただきました。午後からは、橋本先生に直接指導を受けながら、アップスタイルに挑戦しました。シンプルながら力強いメッセージで学生たちもデザインの役割や意義について考えさせられた様子でした。この授業で、学生たちが今後どう成長していくのか楽しみです。



福山 穴吹調理製菓専門学校[福山]

松永高校の1年生と体験授業を行いました

9月21日(金)松永高校の1年生のみなさんが学校見学＆体験授業に来てくださいました。穴吹調理製菓専門学校では、ルレクチエのベニエ、クレームキャラメルソースを作る、調理師体験を行いました。高校生のみなさんは、「楽しかった!」「オープンキャンパス来ます!」などのうれしい感想をたくさんいただきました。シングルながら力強いメッセージで学生たちもデザインの役割や意義について考えさせられた様子でした。この授業で、学生たちが今後どう成長していくのか楽しみです。



広島 穴吹デザイン専門学校[広島]

デザインユニット2M26の特別講義が行われました

9月8日(土)、フランスと京都を拠点に家具から建築まで領域を横断して創作活動を実践しているデザインユニット、2M26(メラニー・ヘルスバーグ&セバスチャン・ルノー)を講師に迎え、国際的な視点からデザインを考えるレクチャーと家具づくりのワークショップを実施しました。シンプルながら力強いメッセージで学生たちもデザインの役割や意義について考えさせられた様子でした。この授業で、学生たちが今後どう成長していくのか楽しみです。



広島 穴吹カレッジの最新ニュースをいち早くお知らせ!

穴吹カレッジのマスコットキャラクター「穴トラ」が独自の視点で各学校のイベント報告やトピックスを厳選して紹介。



www.facebook.com/anabuki.college

穴吹カレッジグループtwitter



穴トラが穴吹カレッジの最新ニュースをお知らせしてくれます。
twitter.com/ana_tora

穴トラン LINEスタンプ



穴トラがLINEスタンプになりました。バリエーション豊富です!
<https://store.line.me/stickershop/product/12549454/ja>

各学校でも続々! コンペ・ 产学連携の お知らせ



高松 穴吹デザインカレッジ



「エネフィス四国」新築工事仮囲い面 デザインコンテスト

グラフィックデザイン学科 2年
西尾 奈津子（高知小津高校卒）

徳島 穴吹調理デザイン ビューティカレッジ



**第 10 回全国理容美容学生技術大会四国地区大会
美容部門ワインディング（国家試験課題）優秀賞**
美容学科 2年
中川 莉（名西高校卒）
小谷 佳菜（鳴門渦潮高校卒）



穴トラ LINEスタンプできました！

穴トラがLINEスタンプになりました！バリエーションも豊富で、使い勝手もGOOD！いろんな穴トラスタンプを使ってみてね！
<https://store.line.me/stickershop/product/1254954/ja>

福山 穴吹情報デザイン専門学校



人気ベーカリー「Marque-page（マルク・バージュ）」 店舗イラスト作成

CGデザイン学科 1年
花木 亜衣（おかやま山陽高校卒） 石川 明香里（おかやま山陽高校卒）
藤井 有紗（岡山龍谷高校卒） 館原 凪沙（神辺旭高校卒）
三宅 鈴花（福山葦陽高校卒） 濱崎 桃（尾道商業高校卒）
横山 芽衣（就実高校卒）



穴吹教育総合研究所 福田稔の
就職コラム

第19回 あなたの座右の銘は何か？

あなたの好きな言葉は何ですか？

「あなたの“ざゆうのめい”は何ですか？」と訊かれて、「右が1.5、左が2.0です」と答えた伝説のボクサーがいた。世界チャンピオンにまで上り詰めた選手だったが、お笑いのセンスもなかなかだ。

さて、座右の銘というか、私の好きな言葉に「人生における大きな喜びは、『君にはできない』と世間が言うことをやってのけることである」がある。

私には妙な反骨精神があるようだ。無理だとか、難しそうだと言われると、余計に燃えてくる。いつの頃からか、そうなっていた。負けてたまるか、そういう思いは強くなっていた。

たしかに難しそうだと自分でも思っていたけどやってみたら案外できるもんだ。そういう体験をした人は多いはず。やりもしないで、勝手に諦める。それはいかにももったいない。

だから学生たちにも、初めてのことだから自信がないと尻込みせず、まずはやってみようと思える人になってほしいと思う。

未経験のことでもやってみる。きっと私ならできるはずだ。そういう根拠のない自信のことを自己効力感と言うが、チャレンジできる人か、そうでない人か、その分かれ目になるのが自己効力感の有無だ。

あなたは上から何番目？

NHKの大河ドラマ。今年は「西郷どん」。

主人公は西郷隆盛。その出身地、薩摩（鹿児島県）には、「薩摩の教え」というのがある。

それは一言でいえば、挑戦することの大切さを説いたもので、「挑戦」を評価軸にして人を序列化している。で、気になる薩摩の教えの5段階評価によれば、

1番は、何かに挑戦し成功した者

2番は、何かに挑戦し失敗した者

3番は、自ら挑戦しなかったが挑戦した人の手助けをした者

4番は、何もしなかった者

5番は、何もせず批判だけしている者

成功の反対は失敗ではなく、何もしないことだ、という誰かの言葉を思い出す。こうしてみると明治維新的立役者に薩摩藩の出身者が多いのも、「薩摩の教え」の成果だろうかと思う。

再び、私の好きな言葉

It always seems impossible until it's done.達成するまでそれは不可能に見える。

人種差別と闘ひノーベル平和賞を受賞した南アフリカ共和国大統領、ネルソン・マンデラ氏の言葉だ。

武田信玄もこんな言葉を残している。

為せば成る 為さねば成らぬ 成る業を成らぬと捨つる 人の儂き

現代語訳にすると、こんな感じでしょう。やればできる。やりもしないで、できないと勝手に諦めるのは愚かなことだ。

座右の銘、好きな言葉にはその人の価値観、考え方方が色濃く反映している。

就活の面接で「あなたの座右の銘は何か？」と質問されるのも、受験者の生き方、考え方を知りたいからだ。

では、あなたの好きな言葉は何ですか？
その言葉を選んだ理由はですか？

コラムニスト

福田 稔 [ふくだ みのる]

穴吹教育総合研究所 所長／

中小企業診断士／社会保険労務士

保護者向け講演や高校への出前講義を

こなすかわら、新入社員教育にも力を

入れる。著書に目標

未達でも給料が上がる

人（角川新書）や

「カイシャ語」使える！

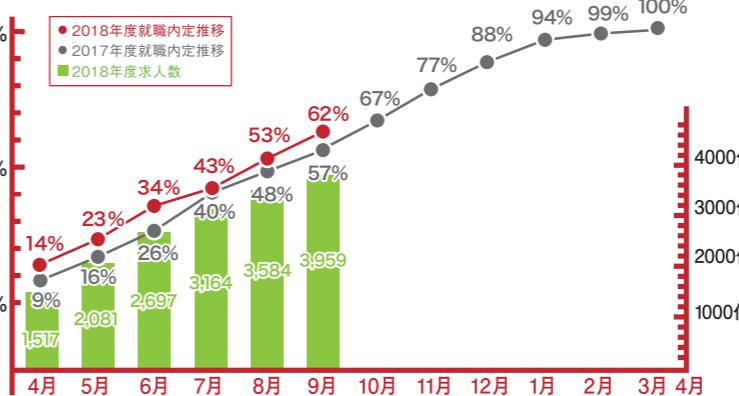
大人の口パズル（小学館）などがある。



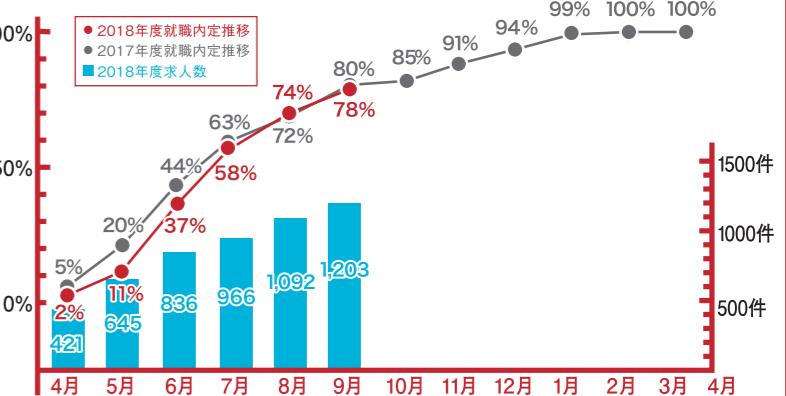
<http://www.m-fukuda.info>

穴吹カレッジ就職内定状況と求人社数状況(2018.9.30現在)

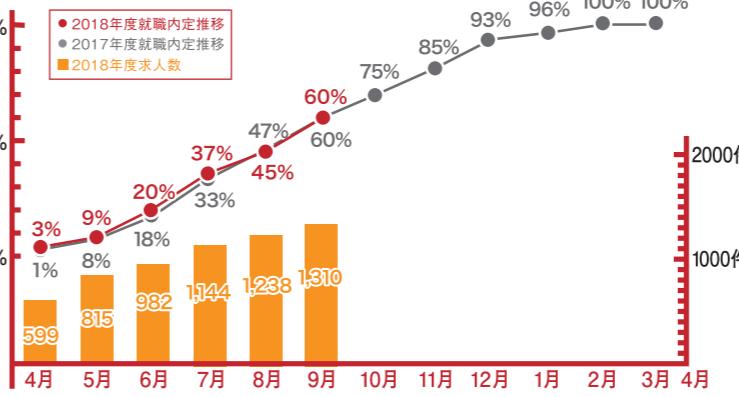
全国：有効求人倍率1.63倍 香川：有効求人倍率1.78倍(2018年8月)
香川県の有効求人倍率は1.78倍となっており、売り手市場が継続している状況です。穴吹学園高松地区の内定状況についても、9月末で62%の学生が内定を頂戴しており、ここ数年では最速のペースです。夏休み返上で懸命に就職活動に励んだ成果が数字に表れています。今年度も後半戦に入りますが、就職キャリアセンターでは、最後の一人が内定を勝ち取るまで全力でサポートして参りますので、学生のみなさんも妥協せず、納得のいく就職活動を進めてください。



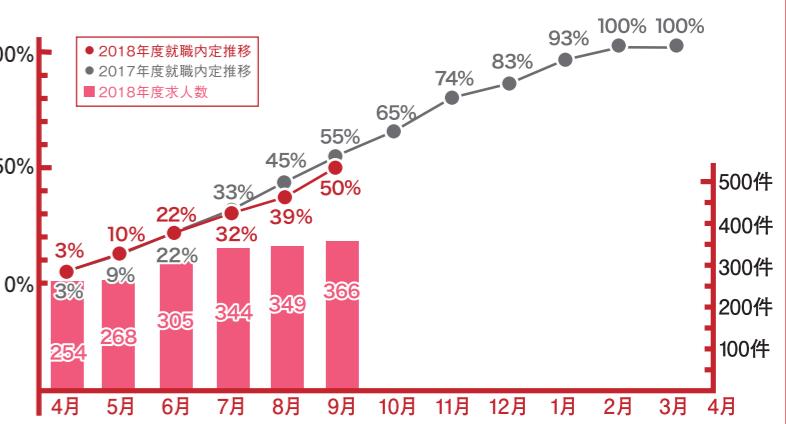
徳島3校の9月末の内定状況は、昨年同様高い内定率を推移しております。特に今年は4月～5月でしっかりと将来を見据え受験先を絞り込み、結果的に6月～9月に多くの学生が内定を勝ち取ることができました。プライダーレ・ファッショングループは全員内定、美容学科・歯科衛生士学科・情報システム学科も好調です。就職活動も後半戦に突入ですが、就職キャリアセンターも最後まで学生と共に走り抜け、サポートしてゆきます。



早期の就活で内定をいたい学生に加え、夏季実習を経て受験した学生が続々と内定をいたいでおり、内定率は順調に推移しています。求人も総数、分野毎数とも十分にいただけます。さて、卒業年次生のみなさん、よいよあと数ヶ月で社会人としてのスタートです。特に内定をいたい人は、その企業の一員としての自覚を持ち、学生生活の集大成として自己研鑽に励みましょう。企業に入ると環境が激変します。そこで他者との関係を築くには「学び続ける習慣」が必須です。これから起ころう場面を予測し、しっかりと準備して臨むのがビジネスマナーです。



2年生には受験先を絞り込むための学内企業説明会を37回実施致しました。職業理解を深めて、内定に結びつくサポートを今後も継続します。また、就職活動の悩みが解消できるように、個人面談も継続します。1年生には求人情報の伝達や、就職活動の準備についての指導を行っています。取り組みの様子は就職CCスタッフブログを是非ご覧ください。
(<http://anabukidesign.blog37.fc2.com/>)



内定率=内定者数/就職希望者数※公務員希望者は除きます。